Gifu Occupational Therapist Association News

ごったに 96号

2020年 2 月

事務局：平成医療短期大学 リハビリテーション学科作業療法専攻
〒501-1131 岐阜市黒野180 TEL＆Fax:058-234-6763
E-mail:jimu@gifu-ot.com　http://gifu-ot.com

特集

＜岐阜県作業療法士会と他団体との協業②＞

目次

・巻頭言　「今日から始めよう」
・特集記事　（岐阜県作業療法士会と他団体との協業②）
・活動報告　（2019年11月～2020年１月）
・活動報告　（リーダー養成研修）
・岐阜県リハビリテーション協議会便りNo.３
・私の職場の強み　（公益社団法人　岐阜病院）
・突撃！となりの作業療法士　「人とのつながりを大切に」
・新入会員紹介

今日から始めよう

岐北厚生病院
江　﨑　豊　英

子供の頃の１日は授業や遊び等を通して毎日驚きや発見があり、１日が長く感じました。１年先の事なんて遠い未来の様に感じていましたが、今ではあっという間に１日、１週間、１ヶ月が過ぎ、１年が終わっていく。季節の移り変わりがとても早いなと感じながら仕事をしています。そんな自分とは裏腹に、いつものほほんとしている小学生の息子に「今すぐ〇〇やりなさい。今からやったほうがいいよ。」と伝えても「そのうちやるから大丈夫」と言う息子の言葉と行動の遅さにイライラしてしまう毎日があります。

自分の学生時代を振り返ると、たっぷり時間があり、やりたいことも沢山あって・・・。しかし「そのうち、いつか」で過ぎていった様な気がします。結局成し遂げられたことはと聞かれると、高校時代の野球や国家資格取得の為の勉強以外「うーん」となってしまいます。子供や学生には時間があって、大人の自分達には時間が無いわけではありません。今という時間を大切に過ごすことが重要なのでしょうが、結局、自分同様、我が息子も、過ぎてみないと時間の大切さには気づかないでしょう。

令和２年が始まり約２か月が経ちました。皆さんは＜今年の目標＞をたてられましたか？目標は、５年後10年後のなりたい自分を見据え、「今年は何を行うのか」を具体的に表現した方が良いそうです。自分自身の目標に置き換えると、40代に突入してからというもの、趣味が野球オンリーだった私がフルマラソンに挑戦し完走、そして今年も大会出場目指します。又、空手を始め黒帯に挑戦中。作業療法士としては、院内で骨粗鬆症マネージャーとしての活動、認定作業療法士取得挑戦。という目標をたてています。皆さんも是非今日という１日を目標達成の為に使いましょう。日々の業務に追われてばかりの毎日ですが、与えられた時間をどのように過ごすのか、今改めて自分も考えてみようと思います。

自分自身今年で作業療法士生活16年目を迎えます。ただ漠然と日々を過ごす中でも、私たちを取り巻く環境の変化を感じずにいられません。今年はオリンピック・パラリンピックの開催や診療報酬改定があります。そして私が勤務する病院も今年は新築移転されます。これまでの経験を病院、地域の中でどのように活かしていこうか考えながら働いている日々です。作業療法士及び理学療法士法が制定されたのは昭和40年。職種として還暦を迎える年は現在医療、福祉業界で課題としてあげられている2025年になります。今一度日本の医療における作業療法士の役割と課題を見据え、関連職種の皆様のご協力いただきながら努力してまいりましょう。

【特集】

岐阜県作業療法士会と他団体との協業 ②

～地域に求められる作業療法士～

近年、作業療法士は地域で活躍することを求められており、他団体と協業することが増えてきました。

今回の特集記事では、認知症・学童保育・福祉用具の領域における、岐阜県作業療法士会の取り組み・現状を報告します。

各々の取り組みに興味を持たれた方は、是非ご参加・協力をお願い致します。

認知症

日本は超高齢社会です。虚弱な高齢者・認知症者の増加に対して、日本はどう対処していくのか、世界が注目しています。昨年6月には認知症施策推進大綱が発表、「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、共生と予防を車の両輪として施策を推進」を基本的考え方に掲げました。この場合の予防とは、認知症にならないという意味ではなく、遅らせる・進行を緩やかにするという意味です。

OT協会では、3年前から認知症UD研修会を行っています。岐阜県士会でも開催していますが、全県士会員の15%しか履修いないのが現状です。当研修会では、認知症に対する正しい理解・関わり方・新しい情報を学び直すことが出来ます。今後、地域に貢献できる作業療法士を育てるために、1人でも多く研修会に参加していただきたいと思っています。

（地域リハ推進部長　君垣　義紀）

学童保育

発達領域では、昨年度より地域包括ケアシステム推進事業の一環として、「学童保育連絡協議会」との合同研修会を行っております。

合同研修会には、学童保育職員をはじめ保育園・幼稚園の先生、放課後デイサービスの職員、行政関係者、保護者の方まで参加いただきました。参加者の皆様からは発達支援について、障害の理解や考え方、支援の仕方などをより多職種でチームで支えていくために「作業療法の必要性」を強く望まれていました。

その一方で、県士会において発達領域に所属する会員は3.6%と極めて少なく、また日常業務に追われる中で多方面のアプローチは困難であるのが現状です。

今後、学童保育連絡協議会との連携を進め、相互の役割や現状の理解を促進し、人材育成のためのシステムの構築や派遣体制の確立を目指して、企画・運営をしていきたいと考えております。　（学術研修部　後藤　昭道）

福祉用具

1月末に、ぎふ ささえあいフェスタ2019が福祉用具供給協会と共に開催されました。

作業療法士はICFに基づいて対象者の評価・支援を行います。そして、作業療法士が最も関与する領域が、活動・参加、個人因子、環境因子と思います。生活期において、環境因子への支援は重要であり、環境面での自立支援を促す最も有効な手段の一つが福祉用具の活用ではないでしょうか？

福祉用具の提供では、福祉用具専門相談員に丸投げしていませんか？相談員は福祉用具・機器の特性把握に長けていますが、対象者の医学的情報、身体的状態や活動能力の評価では作業療法士の能力が必要不可欠です。

「福祉用具と言えば作業療法士」日本作業療法士協会が重点活動項目として展開してきた通り、回復期、生活期での生活支援に欠かせない福祉用具。福祉用具専門相談員と連携し、対象者のより良い支援に心掛けてください。　（会長　須貝　里幸）

岐阜県作業療法士会　活動報告
2019年11月～2020年1月

【記載内容】
日付／内容（場所）
＊備考（研修会のテーマ・参加者数など）

会　長

11月2日／ねんりんピック岐阜2020　1年前イベント　（岐阜メモリアルセンター　ふれあいドーム）

11月16日～17日／第19回東海北陸作業療法学会開会式出席　（アクトシティ浜松）

11月19日／介護ロボット岐阜フォーラム
（大垣市情報工房）

12月7日／国民医療を守るための岐阜研修会・岐阜県糖尿病対策推進協議会総会
（岐阜県医師会館）

12月8日／第3回岐阜県協議会
（岐阜シティ・タワー）

12月21日／福祉用具相談支援システム合同業務連絡会ならびに生活行為工夫情報モデル事業事務連絡会会議

1月11日／第4回岐阜県協議会
（岐阜シティ・タワー）

1月12日／第4回推進委員会
（TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター）

1月24日～25日／ぎふささえあいフェスタ2019
（ぎふメディアコスモス）

社会局

地域リハ推進部

11月9日／認知症の人の生活推進委員会
（TKP築地新富町カンファレンスセンター）

11月16日／認知症初期集中支援研究会
（大垣市情報工房）＊参加者:OT13名、他職種7名

11月21日／大垣市ケア会議

11月27日／大垣市ケア会議

12月7日／介護予防推進リーダーアドバンス研修
（近石病院）＊参加者:OT3名、PT9名

12月8日／地域包括ケア推進リーダーアドバンス研修　（近石病院）＊参加者:PT13名

12月22日／岐阜県補助金事業（大垣市情報工房）

事業部

11月4日／ぎふ市民健康まつり
（岐阜市文化センター）

広報部（会員向け）

11月27日／広報誌「ごったに」95号　発行

学術局

学術研修部

1月13日／発達障害領域:学童保育×作業療法
（OKBふれあい会館）
＊参加者:27名(会員:25名　非会員:2名)

教育局

現職者研修部

12月15・16日／第2回現職者共通研修会
（平成医療短期大学）

生涯教育部

12月7・8日／生涯教育制度推進担当者会議
（東京文具共和会館）

その他

11月3日／瑞穂市RUN伴+

11月8日／認知症推進委員会全国会議
11月13日／大垣市障害支援区分認定審査会
11月18日／本巣広域連合もとす療育センター講義
11月30日／東海北陸リーダー養成研修会
12月1日／東海北陸リーダー養成研修会
12月11日／大垣市障害支援区分認定審査会
12月20日／大垣市地域ケア会議
1月8日／大垣市障害支援区分認定審査会
1月11日／運転と作業療法委員協力者会議
1月15日／大垣市地域ケア会議

岐阜県リハビリテーション協議会

11月10日/災害対策研修会
（岐阜県総合医療センター）
12月6日/定例理事会　（羽島市民病院）

東海北陸リーダー養成研修

河村病院　森　島　圭　祐

今回，岐阜県士会から５名（浅野貴咲、加藤啓介、加藤貴恵（GKの訪問看護ステーション）、田原涼馬（山田病院）、森島圭佑（河村病院））が東海北陸リーダー養成研修に参加させていただきました。

愛知県、石川県、静岡県、富山県、福井県、三重県から５名ずつの参加があり、研修会で予定されていた臨床実習指導者研修に関する議論や各県士会または各病院の後継リーダー養成に関する問題についての議論がなされ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

特に印象的だったのは、各県士会または各病院の後継リーダー養成に関する問題についての議論で、他県士会の取り組みを聞くことができるいい機会でした。残念ながら当県士会においては、これといってリーダー養成を積極的に行う取り組みが現在のところできておりません。今後、これまでに参加された先生方と連携し、新たな取り組みを始めていき、岐阜県士会を盛り上げていきたいと感じました。

岐阜県リハビリテーション協議会便り No.3

遊び心、持っていますか？
それ、ちょっとお貸し願いませんか？

会長　柴　　貴　志（岐阜県立多治見病院）

岐阜県理学療法士会主催で「岐阜こども療育用具・福祉機器展」が毎年開催されて10年を迎え、新たな形に向かっています。開催主体を当協議会に段階的に移行していく予定です。2020年はOT、ST士会も人的な協力の中で参加をしていきます。到達点は、人ではなく、専門性の発揮です。イベントの中でOTの専門性を来場される児童やご家族様に提供をする。普段の業務の中で、「こんなことがあったらいいな」「この児には必要じゃないかなぁ、でも病院（施設）ではできないし…」ということをこのイベントを通じてやってみませんか？

イベントの中で動い頂ける人が欲しいですが、アイデアがたっぷりほしいです。そこはもう遊び心です。今年は６月６,７日にセラミックパーク美濃で開催されます。先ずは遊びに来てください。そこから膨らんだアイデアを来年に向けてお貸しください。

私の職場の強み

第14回

公益社団法人
岐阜病院

平成 23 年に「認知症疾患医療センター」を開設。平成 27 年には「訪問看護ステーション　はな」を開設しました。平成 30 年には東館を新設。落ち着いた雰囲気の内装となりました。リハビリ科には現在、OT12 名・PT1名・MT2名が所属しています。

院内作業療法

それぞれの病棟内で行う作業療法と、各病棟から作業療法室に来て行う作業療法があります。季節に合わせた大きな行事（夏祭り・クリスマス会）は、患者様が特に楽しみにしているイベントです。必要に応じ個別の作業療法も実施し、きめ細かな対応を心がけています。

デイケア／訪問看護

「デイケアセンター　あさがお」「訪問看護ステーション　はな」では、対象者様が住み慣れた場所で自分らしく暮らすことができるよう、看護師・精神保健福祉士らと共に取り組んでいます。日常の不安や困り事から、一人一人の将来の目標に至るまで、支援の内容は多岐に渡ります。

理学療法士・音楽療法士との連携

身体的な障がいを合併している方に対し、理学療法士と情報共有しながら介入できるのは、心強い点です。また、受身的にでも刺激を享受できる音楽は欠かせないプログラムで、こちらも音楽療法士と連携しています。他職種とは勿論ですが、何より科内の風通しがよいところが、この職場の強みと言えます。

第16回
突撃となりの作業療法士

社会医療法人 白鳳会 鷲見病院
加藤　政樹　先生からのご紹介

ケース2「人とのつながりを大切に」

八幡病院
リハビリテーション科
川　合　弘　晃

学歴：2010年3月　　藤田保健衛生大学
（現　藤田医科大学）卒業

職歴：2010年4月～　八幡病院　入職

私は今の職場で医療保険領域、介護保険領域を経験しました。新人の頃は自分の知識と技術を高めることが目の前にいる対象者の方を良くする最善の手だと思っていました。

しかし、地域リハでは、自分が直接関われる時間はほんのわずかでした。特に私の勤務地である郡上市は山間地域のため各種のサービスが満足に受けられない地域もあります。限られた資源で対象者の方を支えていくためにはサービス提供者間の連携がより一層重要となると感じ、今は郡上市内で地域包括ケアシステム構築のための事業に携わっています。その中で感じたことは、多職種連携には相手を知ること、自分を知ってもらうこと（専門性やその人自身も）が重要ではないかと思っています。そのため、普段から人と人とのつながりを大切にしていくことが私にとって連携の第一歩と考えています。

今後も、本人を含め関わる人たちが同じ方向を目指していけるよう多職種と協働していきたいと思います。

【会員数】
593 名（1 月 21 日現在）

【県士会所属施設数】
159 施設（1 月 21 日現在）

印刷　**（有）いすくら**
〒501-2514 岐阜市三輪宮前 164-1
TEL.058-229-6091 FAX.058-229-6093
isukra@muse.ocn.ne.jp

生涯教育部

各研修会の受講証明書をお持ちの方は、下記住所へ郵送を。内容を確認出来次第、生涯教育ポイントシールを郵送にて配布します。

2019年度(2019年4月～2020年3月)開催分の受講証明書は、2020年3月中旬までに郵送をお願いします。

〒502-0812　岐阜市八代1-7-1
岩砂病院・岩砂マタニティ
リハビリテーション科　作業療法室
林　節也　宛

＊往信用封筒には「受講証明書在中」と朱書き
＊受講証明書と返信用封筒(84円切手貼付)を同封

機関誌編集部

機関誌「岐阜作業療法」論文投稿のお願い

日頃より機関誌編集部の活動にご協力頂きまして、厚く御礼申し上げます。

この度、機関誌「岐阜作業療法」発刊に向けて準備を進めておりますが、現在、論文の投稿が少ない状況です。

岐阜県作業療法学会だけでなく、日本作業療法学会等、他学会で発表された方も、論文として岐阜作業療法に投稿してみてはいかがでしょうか？

「論文を書くのは難しそうだ」と思っている方も多いと思います。査読等の手続きを通して、掲載までサポートしますのでご検討頂けると幸いです。よろしくお願い致します。

機関誌編集部　石川真太郎
s-ishikawa@wakokai.or.jp

広報部

岐阜県作業療法士会ニュース
「ごったに」編集
岐阜県作業療法士会（広報部・会員向け）

岐阜清流病院
リハビリテーション療法課　作業療法室
〒501-1151　岐阜市川部 3 丁目 25 番地
TEL. 058-239-8111
FAX. 058-239-8216

山田病院
リハビリテーション科　作業療法部門
〒501-0104　岐阜市寺田 7 丁目 110 番地
TEL. 058-254-1411
FAX. 058-254-1413

【編集後記】

今回のごったには2020年となり、最初の発送となります。2000年から20年が経過しました。近年は急速に変化している印象があります。変わりゆくことに毎度対応することも大変ですが、できることが増える！と前向きに考えて対応していきたいです。今年もよろしくお願い申し上げます。